



東京医科歯科大学 がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

サロン便り No.67
(2018年 7月発行)



2018年6月26日に開催された第67回“おしゃべりサロン”の参加者は、体験者16名(男性6名、女性10名)家族2名(男性0名、女性2名)その他1名(女性1名)合計19名でした。盛夏を思わせる暑い日でしたが、今回もたくさんの方にご参加いただきました。抗がん剤治療中の副作用や、気持ちの持ち方などの思いを分かち合いました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分のことを自分の言葉で話す
 - ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴く
 - ③サロンでのお話はこの場限りにする
- 以上三点です。また個人情報保護のため、SNSへの投稿や録音、写真撮影は禁止です。ご協力をよろしくお願いいたします。



○がんになっても、それからが長い。死に直結する病気ではなく、共存をする慢性疾患だと思う。病気でも楽しんでいきたい。

○人生はいつ何があるかわからない。病気になったが、未来を先取りして心配することはない。今ここに命あることが金メダルだと思う。

○病気でも元気に笑っていただけることを、多くの人に知ってもらいたい。病気があっても、特別な人になったわけじゃない。

○自分の心の動きや身体の変化に敏感になっていきたい。

○抗がん剤の副作用は、出る人もいれば、まったくでない人もいる。個人差が大きい。

○病気を治すだけの人生はイヤ。これからも仕事をしていきたい。生きがいや夢がある。

○サロンでは、同じ病気の人同士、安心して一緒に話せる。



○抗がん剤の副作用で脱毛し、ウィッグを使っている。同年代の人たちは白髪が増えて染めたりして大変そうだが、ウィッグなら経済的だし、かぶるだけでいいので楽だと思っている。

○気づけば、がんが分かってからもう3年。今は長生きしそうだと思って、老後のお金をどうしようかと心配。

○抗がん剤やホルモン治療には副作用があるが、おりあいをつけながらやっている。

○離れて暮らしている母ががんになった。誰にいてほしいのか、残りの人生何がしたいのか、母との関係をこれからも考えていきたい。

皆様も、仲間のお話を聴いて、そして自分も話してみませんか。スタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後の日程

■日時・場所

毎月第4火曜日 13:30 ~ 15:30

東京医科歯科大学 医学部附属病院

2017年 8月28日(火)

9月25日(火) B棟5階 症例検討室

(詳細は当日、開催階のエレベータホールに掲示)

■対象：主にがん患者さん・ご家族

どちらの医療機関に掛かっている方も参加出来ます(無料・予約不要)

■問合せ：東京医科歯科大学医学部附属病院
がん相談支援センター(腫瘍センター内)
電話：03-5803-4008(直通)

主催：特定非営利活動法人がん患者団体支援機構

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-28-7



E-mail : info@canps.jp

URL :http://www.canps.jp

共催：東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター

